

「フェイクを見極める」

開催地：東京

グループ： 2班

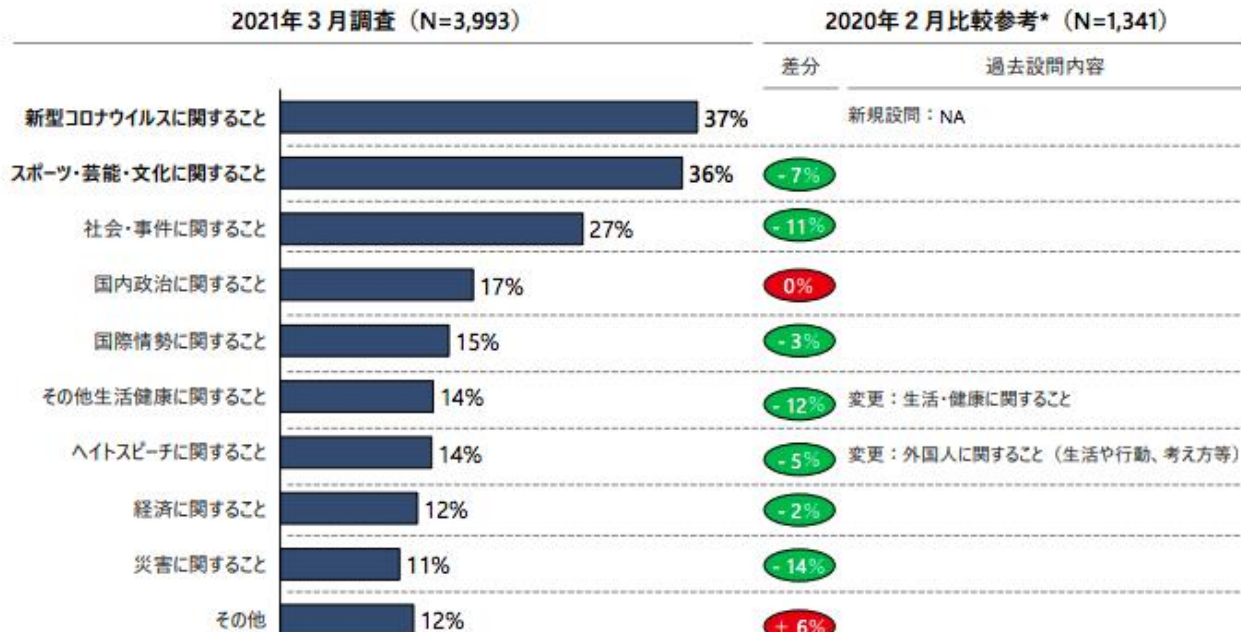
2021.10.2

フェイクニュースと向き合う

調査結果：ジャンルごとのフェイクニュースへの接触状況

- ・ 直近1か月の間で、フェイクニュース接触率が高いジャンルは、新型コロナウイルス及びスポーツ・芸能系関連。
- ・ その他のジャンルを除き、ジャンル別の接触率は減少している*（2-14%）。

F10：直近の1ヶ月の間でフェイクニュースを見かけたことがある方に伺います。直近の1ヶ月の間で、あなたはどのようなジャンルのフェイクニュースをみたことがありますか。



過去調査に対して、新規設問を挿入、設問文を一部変更している為、比較は参考値

問題になっていること

- 信頼出来る情報源がわからない
- 情報元や根拠を知らず、又聞きの情報に鵜呑みにしてしまう
- 罰則がないので悪意あるフェイクニュースを流す人が絶えない
- フェイクニュースが及ぼす影響の大きさを理解していない
- ファクトチェックの知名度が低く、正誤を確かめぬまま終わる

高校生ができること



- 自分で調べる
- デジタルタトゥーについて学ぶ
- 普段から、情報に接する時はフェイクかどうか疑う
- フェイクニュースが周りにどんな影響を与えてしまうか知る
- 小中学生がSNSを使用する上で、フェイクニュースに騙されないように、私達高校生から教えることができる機会を設ける

団体にしてもらいたいこと

- ・ YouTube広告に政府からの正しいコロナウイルスの情報を流す
- ・ 高校生にファクトチェックの団体があることを広めてもらう
- ・ 日本にもフェイクニュースを取り締まる法律などがあってもいいのでは
- ・ 学校で授業でフェイクニュースについて学ぶ機会を設ける